

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2	対象	3学年
担当者	水内二士子						
使用教科書			使用教材				年間授業時数
家庭基礎 (自立・共生・創造) 東京書籍			なし				70
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	・自分らしい人生をつくる		・生涯発達の視点で自立について考える ・青年期の課題について理解する ・各ライフステージの特徴と課題を理解し人生すごろくを			28
	5	・自分らしい人生をつくる		・社会の変化と家族について分析し家族家庭の問題点を探り 家族家庭の問題点について小論文を書く ・民法と家族・家庭について理解を深める			
	6	・子どもとともに育つ ・高齢社会を生きる		・乳幼児の心身の発達や生活などについて理解する ・子どもの発達と遊びについて理解し、絵本を制作する ・高齢者の理解と高齢社会について考える			
	7	・共に生き、共に支える ・期末考査		・家庭生活と福祉について考える ・一学期の学習の振り返りをする			
2 学 期	9	・生活の自立 (衣生活をつくる)		・衣服の機能を理解しTPOに合わせた着装ができる ・被服材料とその性能を知り、適切に選択・購入できる ・手縫い文化を継承し生活に生かすことができる			28
	10	・生活の自立 (衣生活をつくる) ・生活の自立 (食生活をつくる)		・伝統工芸である「刺し子」の技術を使って「花」ふきんを制作する			
	11	・生活の自立 (食生活をつくる)		・栄養と食品について理解し、食生活を見なおし改善する ・簡単な昼食を用意できるよう実習をする			
	12	・期末テスト ・生活の自立 (住生活をつくる)		・二学期の学習の振り返りをする ・住んでみたい家、住んでみたい所 (住環境) を描き、住居探しの条件を確認する			
3 学 期	1	・生活の自立 (食生活をつくる) ・生活の自立 (住生活をつくる)		・お菓子を作りお世話になった人にプレゼントする ・一人暮らしの部屋探しをする			14
	2	・経済生活を営む		・一人暮らしの部屋探しと一人暮らしにかかる生活費をレポートにまとめる (家計のマネージメント) ・消費者の権利と責任について考える			
	3	・まとめ		・一年間の学習を振り返りノートをまとめる			
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。			定期考査 作品			
思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。			レポート 小論文			
主体的に学習に取り組む態度	社会・家族の一員として、生活をよりよくしようと課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。			ファイル(ノート)の提出 授業参加・態度 教材等の準備			

教科名	家庭	科目名	フードデザイン	単位数	2	対象	3学年
担当者	水内二士子						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
フードデザイン 教育図書			なし			70	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> 健康と食生活 調理の基本と調理実習 		<ul style="list-style-type: none"> 食生活の実態、食事の意義と役割について理解する 調理の基本と調理室の使い方を知る 和食献立の実習 			28
	5	<ul style="list-style-type: none"> 食文化を見つめる 栄養素と食品の特徴 調理実習 		<ul style="list-style-type: none"> 食文化（和食）について調べる 食品の特徴（米、いも、だし）について調べる 和食献立の実習 			
	6	<ul style="list-style-type: none"> 食文化を見つめる 栄養素と食品の特徴 調理実習 		<ul style="list-style-type: none"> 食文化（イタリア料理）について調べる 食品の特徴（小麦粉、野菜、魚介）について調べる イタリア料理献立の実習 			
	7	<ul style="list-style-type: none"> 一学期のまとめ 		<ul style="list-style-type: none"> レシピノート（調べ学習とレシピのまとめ）を完成し提出する 			
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> 食文化を見つめる 栄養素と食品の特徴 調理実習 		<ul style="list-style-type: none"> 食文化（中国料理）について調べる 食品の特徴（肉、豆、油脂）について調べる 中国料理献立の実習 			28
	10	<ul style="list-style-type: none"> 食文化を見つめる 栄養素と食品の特徴 調理実習 		<ul style="list-style-type: none"> 食文化（韓国料理）について調べる 食品の特徴（卵、海藻、種実、香辛料）について調べる 韓国料理献立の実習 			
	11	<ul style="list-style-type: none"> 献立作成 栄養素と食品の特徴 調理実習 		<ul style="list-style-type: none"> 各グループごと献立を立ててレシピをつくる 食品の特徴（牛乳・乳製品、寒天）について調べる 生徒献立による実習 			
	12	<ul style="list-style-type: none"> 二学期のまとめ 		<ul style="list-style-type: none"> レシピノート（調べ学習とレシピのまとめ）を完成し提出する 			
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> 献立作成 調理実習 		<ul style="list-style-type: none"> 各グループごと献立を立ててレシピをつくる 生徒献立による実習 			14
	2	<ul style="list-style-type: none"> レシピノートを完成させる 		<ul style="list-style-type: none"> 一年間の調べ学習と調理実習のレシピ、実習の考察等をノートにまとめる 			
	3	<ul style="list-style-type: none"> 一年間のまとめ 		<ul style="list-style-type: none"> レシピノート（調べ学習とレシピのまとめ）を完成し提出する 			
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	栄養・食品・献立・調理・テーブルコーディネートについて体系的、系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする			調理実習の作り方などの確認、出来栄え			
思考・判断・表現	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し食生活の充実向上を担う人として合理的かつ創造的に解決する能力を養う			レシピノートの作成			
主体的に学習に取り組む態度	食生活の充実向上を目指して自ら学び食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う			レシピノートの提出 授業参加・態度 食材や用具の準備			

教科名	家庭	科目名	子どもの発達と保育	単位数	2	対象	3学年
担当者	水内二士子						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
子どもの発達と保育 教育図書			なし			70	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達と特性 交流授業準備 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯発達における乳幼児の重要性について知る 交流授業についての説明と準備をする 			28
	5	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達過程 交流授業体験と準備 		<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の心身の発達について知る 保育園を訪問し子どもたちと交流する 			
	6	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達過程と遊び 交流授業体験と準備 		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達と遊びについて考える 交流授業についての説明と準備をする 保育園を訪問し子どもたちと交流する 			
	7	<ul style="list-style-type: none"> 一学期のまとめ 		<ul style="list-style-type: none"> 交流体験をレポートにまとめて提出する 			
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの生活と遊び 交流授業体験と準備 		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達と遊びについて考える 交流授業の内容を考えと準備をする 保育園を訪問し子どもたちと交流する 			28
	10	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの生活と遊び 交流授業体験と準備 		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達と遊びについて考える 交流授業の内容を考えと準備をする 保育園を訪問し子どもたちと交流する 			
	11	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの生活と遊び 交流授業体験と準備 		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達と遊びについて考える 交流授業の内容を考えと準備をする 保育園を訪問し子どもたちと交流する 			
	12	<ul style="list-style-type: none"> 二学期のまとめ 		<ul style="list-style-type: none"> 交流体験をレポート（ノート）にまとめて提出する 			
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの生活と遊び 交流授業体験と準備 		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達と遊びについて考える 交流授業の内容を考えと準備をする 保育園を訪問し子どもたちと交流する 			14
	2	<ul style="list-style-type: none"> まとめ 		<ul style="list-style-type: none"> 体験記と保育園へのお礼状を書く 卒園児にグリーティングカードを作って贈る 			
	3	<ul style="list-style-type: none"> 一年間のまとめ 		<ul style="list-style-type: none"> 交流体験をレポート（ノート）を完成する 			
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的、系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする			遊具等の作品 交流授業の計画と実施状況			
思考・判断・表現	子どもを取り巻く課題を発見し保育を担う職業人・家庭人として合理的かつ創造的に解決する力を養う			授業報告書 レポート			
主体的に学習に取り組む態度	子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う			ファイル（ノート）の提出 授業参加・態度 教材等の準備			